

発行所
津 奈 木 公 民 館
芦北郡津奈木町
電話(78)5400番
平成16年11月1日発行
第359号
○右の題字は「徳富蘇峰さん」
の額を写したものです。

津 奈 木



キラキラクラブ

「子育て真最中のお母さん、キラキラ・クラブに遊びに来ませんか？」をキャッチフレーズに四月からスタートしました。日程は、毎月第一、第三水曜日改善センター和室で、午前十時から十二時までです。

本クラブは、子育ての話題提供の場としてまた、語り合う憩いの場として気軽に集まっていたいただいています。

本町でも少子高齢化の社会問題は、避けておれない課題です。社会全体で考え、助け合い、協力しないと解決できない問題です。そこで、昔ながらの地域ぐるみの子育てが強く提唱されています。

一人ひとりが、自分のこととして子育てを温かく見守りたいものです。

本クラブが、楽しい出会いの場になることを願っています。

一言

故郷を離れ、大阪に移り住んで四十数年、生まれ育った津奈木での生活十数年より遙かに永くなつてしまいました。にもかかわらず大阪より故郷への愛着の方がより強く感じます。

今年の夏は、中学時代の同窓会を楽しみに待ちに待った新幹線に初乗車し帰省しました。途中が未接続の何とも不評が当然で国の政策に疑問を感じながらでしたが、一刻も早く全線開通し、より頻繁に帰省出来る様に願っている次第です。

子供の頃、汗を流しながら登った重盤岩もケールで、展望台から眺める景色に感動、老婆心ながら採算面は心配しつつ四季彩に直行、懐かしい眼鏡橋を渡りタビ岩が実に上手に利用された温泉で心身共に癒され満足感いっぱいでした。

昔ながらの野球大会、競舟大会も久しぶりに応援に行き、伝統を守りながら進化し続ける津奈木町に町民同様に誇りを感じた次第です。

山崎 信也
大阪在住(竹中出身)



「校舎」

赤崎小5年 栗脇 悠

私は、この絵に何時間もかけてつくったので自信作です。特にこの絵で、気をつけた所は、明るい所や暗い所の区別をつけた所です。みどりの木は、光があたっている所は、明るくというふうに書きました。私は、この絵をすごく気に入っているのです。



「1とうしょうだ！」

平国小2年 ふく山かほ

わたしは、リレーで1とうしょうをとりました。少しきつかったけれど、がんばりました。来年もがんばりたいと思います。(作品は15年度文化協会奨励賞)

子ども美術館 (28)

図書館だより

最近の風潮として文字離れ、本に親しむ機会が少ないようです。気候も良くなり、秋の夜長に読書に親しんでみては如何ですか。図書館も子ども連れで閲覧されていく方もおられますので気軽に御越し下さい。

新刊案内 (一般本)
クラウディア奇蹟の愛・ひねり屋・トラベリングパンツ・魔女の血を引く娘・ハリポッターと不死鳥の騎士団・他



協園杯完全優勝

津奈木ジュニアバレー

去る九月十二日、水俣市で協園杯バレー大会において、津奈木AチームはAパートで一セットも落とすことなく圧倒して完勝。Bパートでは、津奈木B、Cの対決。結局はBチーム優勝、Cチームが準優勝で津奈木チーム完全優勝。

津奈木ジュニアチーム

平成16年度 町民体育祭

優勝 倉谷チーム
2位 染竹チーム
3位 桜戸チーム

種目	1	2	3	4	5	陸上競技大会順位	陸上競技大会順位	総合順位	総合順位	前年度総合順位	本年度総合順位	躍進
男子ソフト												
女子ミニバレー												
野球												
競舟												
陸上競技												
地区												
竹中	11	11	5	113	13	9	36	11	19	11	2	
染竹	20	5	10	153	2	20	55	2	14	2	1	
浜崎	17	11	12	121	9	13	53	4	6	4	7	
桜戸	8	11	16	136	3	19	54	3	6	3	5	
町中	5	8	5	59	21	1	19	21	18	21	16	
新川	8	8	10	83	19	3	29	19	17	19	14	
古川	5	8	12	96	17	5	30	17	11	17	17	
大泊	5	8	20	132	5	17	50	5	5	5	12	
中尾	11	5	12	129	7	15	43	9	1	9	21	
古中尾	8	5	14	111	15	7	34	13	15	13	7	
倉谷	14	20	8	132	5	17	59	1	1	1	12	
内野	11	5	10	86	18	4	30	17	11	17	17	
上下門	11	8	8	117	11	11	38	10	3	10	19	
川内止	5	14	8	76	20	2	29	19	21	19	7	
福浦	5	14	5	115	12	10	34	13	16	13	5	
平国上・辻	5	11	18	123	8	14	48	6	10	6	3	
平国下	5	8	8	121	9	13	34	13	6	13	19	
日当	14	8	8	133	4	18	48	6	4	6	14	
日添	5	8	12	154	1	21	46	8	9	8	11	
小津奈木	5	17	8	103	16	6	36	11	13	11	7	
丸岡	8	5	10	112	14	8	31	16	20	16	3	

「公民館は地区共有財産」 桜戸公民館

町内の公民館はどの地区にも立派に運営、整備されています。運営面ではいろいろと気苦労があるようです。桜戸公民館（浦口満区長）の運営については「地区民の財産」という意識で地区民に協力してもらいます。公民館清掃（第一日曜日）の場合は当番制によって八班に分けて実施され、もし都合により出席できない場合は「出不足金制度」を取っており欠席の代償として千円を徴収されます。皆さん主旨を理解されて快く



美化奉仕（桜戸公民館）

教育委員再任



齋藤利一郎氏



宮嶋 弘行氏

九月三十日で任期満了を迎えた、齋藤利一郎（教育長）、宮嶋弘行両委員が、九月定例会において議会の同意を得て、十月一日任命されました。任期は、平成二十年九月末日まで。（四年間）

あけぼの大学

一般の方も受講歓迎

生涯学習の一環として高齢者を対象として学習を行っていることはご存知のことと思います。この頃の講座では、「後の健康管理」「グラウンドゴルフ」などにも関心があられるようです。折角の講座ですから老人会員ばかりでなく関心や興味のあられる方は一般の方々も多数参加して生涯に亘って教養



熱心な受講者（草花の育て方）

一人暮らし高齢者への給食サービス

各校区婦人会

一人暮らし高齢者75才以上、80才以上二人暮らしの方に、今年も彼岸団子が作られ、配られました。これは、社会福祉協議会と婦人会により、一人暮らし高齢者への給食サービスの一環として行なっている事業です。津奈木、赤崎、平国の各校区でそれぞれに早朝から取り組んでもらいました。できたての饅頭が、婦人会や民生委員さんによって配られました。高齢者の方々から、「長生きして良かった」という



出来上がった饅頭を前にして

一人二役も三役も

野崎久子さん(70)

(平国下)

平国簡易郵便局長の野崎久子さんはトーフ作りの名人でもあります。

毎朝五時過ぎに起きてトーフを作り終えてから道路を挟んで自宅前にある郵便局に出動されています。

機械化された昨今にあつて昔ながらの手作りトーフは美味



郵便局での野崎さん

しいと評判です。時間的に制約されていますので一箱（十五丁）限定の製造で午前中には完売します。郵便局もお客さんはお年寄りが多く、野崎さんのお

人柄もあり、お茶菓子持参で三、三、五、五集まって来られ仕事に支障をきたさない程度に遊んで行かれ憩いの場でもあります。以前は手書きでしたが端末機が導入され便利になった反面、操作についての御苦労も多いようです。土、日曜日は田圃やみかん園の手入れもなさっていて多忙を極めておられますが、今まで病気らしい病気をした事がなく健康だからこそ出来たのだとおっしゃっていました。



仕事場で（トーフづくり）

その年齢の女性には珍らしく（失礼）野球観戦が趣味で大の巨人ファンで熱くなられます。古希を迎えられたとは思えない程の若さとバイタリティーを保っておられる秘訣はそういう所にあるようです。（篠原記）

「今日は何をしましょうか。」と利用者の希望を聞き入浴介助を希望される場合は身体介護と生活援助で二時間サービスを行います。入浴介助も本人の手が届かない所を介助し訓練の



JAヘルパーの一日

松田 秀子（染竹）

「おはようございます、おじゃまします。」と訪問すると、声を聞いて犬が先に玄関で迎え、「おはようございます。」と挨拶が返ってきます。服薬の介助しながら今日も変わらないか観察をします。「いつもお世話になるばかりで。」と申し訳なさそうに言われますが、「いいんですよ。今迄がんばって来られたんですから皆んな年取ると若い人に世話になるんですよ。これはばかりは順ぐりですからね。」に安心されます。夏休みに声高生が実習で同行訪問しましたが、若人

「今日は何をしましょうか。」と利用者の希望を聞き入浴介助を希望される場合は身体介護と生活援助で二時間サービスを行います。入浴介助も本人の手が届かない所を介助し訓練の



父のすすめで読み始めてみると、止まらない。引きつけられて、気付いたときにはもう読み終わっていた。ストーリーは、地球の少女レイチェルとその弟エリックが、冷酷な魔女ドラグウィナにさらわれるところから始まる。レイチェル達が連れてこられたのは、暗黒の星イスレア。魔女は、レイチェルにかくされた魔力を利用するために連れてきたのだ。レイチェルは、魔女に支配されそうになりながらも必死に抵抗し、ドラグウィナをたおす、というファンタジーだ。魔女がせまっている時でも、エリックを見捨てなかったレイチェルの弟を思う気持ち、は何よりもすごいと思

読書感想文

「レイチェルと滅びの呪文」を読んで

津奈木小6年 小鯖 希音

この本のメインの魔法は、とつてもワクワクするようなものばかりだ。魔法は魔法を使う本人の中にいる。正確に言うとう魔法という呪文達がいる。その呪文一つ一つに個性があるのだ。もし私が魔法を使えたら、なんていう想像がいくつもいくつもわいてくるのだ。

この本を読んでいたとき、私の心臓はいつもよりドキドキしていたと思う。最初、このドキドキはドラグウィナをたおした喜びのドキドキかと思ったが、ちがつていた。本当の理由は、レイチェルの勇気と強さにドキドキしたんだと思う。あこがれのドキドキだ。

私は無理なことはすぐあきらめてしまう。しかし、レイチェルの勇気と強さを見た今、最後まであきらめずやろうという気になった。なんだか今は、全部うまくいきそうな気がする。



短歌

本郷武雄選

肥後狂句

つなぎ短歌会

残照に色とりしるさるすべり

白浜美和子

さるすべりピンクや白の陽にはえて

福田八重子

水遊びする子供等の炎天下

西川 ムキ

水着の模様はなやかに取る

寺本ツルヲ

山辺の道に群れて咲く百合

加来 道子

闇に爆ぜし火花は散りて

西 滋子

何処より入り来し響か土間隅に

野田 渚子

喜寿の祝の宴に酔わむ

クラス会には若き日のままだ

〔次回の笠〕

〇生きのよさ 〇心配い無用

一笠一句を 十二月八日(水)迄

津奈木町教育委員会へ